

令和5年度 指定管理者事業報告概要及び評価

報告期間 令和5年4月1日～令和6年3月31日

施設名	大和市中央林間児童館
指定管理者	大和コミュニティセンター中央林間会館管理運営委員会
指定期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日

1. 事業報告概要

【業務実施状況】

・児童館施設の承認に関する業務

(単位:人)

児童館名	幼児	小学生	中学生	その他 (高校生付 添父母等)	合計	1日平均	開館日数 (日)
中央林間	168	1,975	225	349	2,717	8.9	305

・児童館の事業および管理運営に関する業務

火曜日～金曜日と日曜日正午～午後5時30分まで、土曜日は午前10時～午後5時30分まで(月曜日と12月29日～1月3日の休館日を除く)職員2名の常時配置、児童館としての自主事業の実施および児童の遊びや生活の指導、施設内巡回、消防訓練の実施、施設内の安全確保について仕様書に定めるとおり適切に実施した。

・自主事業の計画及び実施(主な事業)

月	事業名	開催期間	参加者数
4	児童館の紹介(利用登録カードなど)	4/4	(160枚配布)
	新一年生歓迎期間(プレゼント配布)	4/6～4/30	20人
5	プレゼント工作(秘密のメッセージカードづくり)	5/9～5/31	26人
6	プレゼント工作(フィルムケースで月の満ち欠けづくり)	6/6～6/30	28人
6・7	七夕飾りづくり(笹の飾り付けと短冊書き)	6/20～7/7	多数
7・8	夏の工作(塩で作るグラスサンドアート)	7/11～8/30	120人
8	消防訓練	8/22	10人(うち職員2人)
9	敬老プレゼント工作(木のチューブで作る香る壁飾りづくり)	9/5～9/30	32人
10	コミセン祭り(スーパーボールすくい等)	10/15	111人
11	秋の工作(オリジナルペンケースづくり)	11/14～11/30	30人
12	クリスマス工作(キャンドルライトでランプシェードづくり)	12/5～12/16	30人
1	冬の工作(オリジナルのお守りづくり)	1/9～1/20	49人
	書初め会	1/6	7人
	お汁粉会	1/20	74人
2	豆まき企画(ストラックアウト)	2/2～2/4	14人
	こどものお楽しみ会	2/17	76人
	バレンタイン企画(ハートの箱にチョコ詰め)	2/6～2/14	21人
2・3	ひなまつり工作	2/21～3/3	22人
3	お楽しみ企画(プレゼント千本釣り)	3/26～3/29	50人

2. 収支決算概要

(単位:円)

収 入		支 出	
指定管理料 (市が指定管理者に払った金額)	2,976,033	雇用関連経費 (指定管理者が雇用している職員の給料、諸手当、福利厚生費等の金額)	2,755,622
雑入 (預金利息等)	0	事業費 (指定管理者がイベント等事業実施のために支出した金額)	250,874
収入計(①)	2,976,033	支出計(②)	3,006,496

収支決算	△30,463
------	---------

※収入支出残高△30,463円は、令和6年度特別会計から戻し入れた。

3. 管理運営に対する評価等

指定管理者の管理運営に対する市の評価は次のとおりです。

評価にあたっては、令和6年2月から3月にかけて利用者アンケートを実施し、令和5年度事業について利用者より意見聴取を行いました。

評価の視点1:施設を利用する者に対し、平等な利用の確保及びサービスの向上が図られたか
<ul style="list-style-type: none"> ・施設の管理・運営については、条例等に則り適切に行われています。 ・新型コロナウイルス感染症が令和5年5月から5類感染症に移行してからの運営について、工作や行事を通して昨年度より多くの児童が放課後の居場所として利用してもらえる結果(前年度対比約158%増)になったことについて、高く評価します。 ・子どもたちの意見を聞き、人気のおもちゃや、本などを増やしていることは、子どもたちが児童館を継続して利用するだけでなく、児童館の満足度にもつながるため、高く評価します。 ・利用者アンケート「スタッフの対応」について、継続して高い水準を維持している点を評価します。
評価の視点2:施設の効用が最大限に発揮された事業運営が行われたか
<ul style="list-style-type: none"> ・様々な自主事業を実施し、地域での青少年健全育成に努めています。 ・工作は、昨年度とは異なった内容を実施し、児童の創作意欲の向上と、児童館を継続的に利用する機会を創出している点について評価します。 ・コロナ禍の影響により、昨年度開催できなかったコミセンまつり、書初め会、お汁粉会、お楽しみ会を再開させ、子どもたちにとって有意義な時間となるように企画した点を評価します。 ・昨年度に引き続きこども卓球大会は中止となり、代わりに夏の工作期間を延長したが、夏の工作の参加人数が昨年度の2倍以上となり、こども卓球大会ができなくても、児童館を楽しませようと企画できている点を評価します。
評価の視点3:施設の適切な維持及び管理が図られたか
<ul style="list-style-type: none"> ・日常の清掃が適切に行われているほか、施設を維持するための取り組みが見られます。
評価の視点4:施設の管理を安定して行う人員、資産その他の経営の規模及び能力を有しているか
<ul style="list-style-type: none"> ・施設の管理運営を安定的に行う上で十分な人員配置及び財務状況と判断します。 ・指定管理会計の収支決算は適切に処理されています。